

地域貢献計画書

平成 26 年 7 月 23 日

東京都千代田区二番町 8 番地 8
株式会社 セブン-イレブン・ジャパン
代表取締役社長 C O O 井阪 隆一
(連絡先・千葉地区事務所 内海 公敬 043-274-6511)

(1) 地産地消に寄与するオリジナル商品の開発と販売、販売促進に関すること

【実施】

- ◆年間通して千葉県内のセブン-イレブン店舗において、県産農林水産物・畜産物を活用した商品提案を継続的に行なう
 - ・平成 26 年 8 月 1 日より、包括連携協定 6 周年記念として「ちば限定メニュー」を発売
 - ・イベントとして地産地消キャンペーンを定期的を実施する
 - ・「フード・アクションちば」への参加登録と千葉県産農林水産物のより一層の消費拡大や知名度向上を図る

(2) 地元産品（農林水産物、加工品、工芸品）の販売・活用に関すること

【実施】

- ◆県産品の販売
 - ・「千葉県優良県産品」の取り扱い
 - ・県産地酒の販売
 - 「仁勇」（成田市）、「梅一輪」（山武市）、「腰古井」（勝浦市）ほか販売
- ◆県主催農産加工品商談会への参加

(3) 健康増進・食育に関すること

【実施】

- ◆食の安心・安全性や信頼性を重視した取り組み
 - ・オリジナル商品に使用する全原材料の生産履歴を集中管理
 - 原材料そのものの履歴、素材がどのメニューに使われているか、どの地区で使用されたのかを正確に把握、さらにアレルギー物質や添加物の有無もチェック

(4) 地域福祉、少子高齢化対応に関すること

【実施】

- ◆高齢者の見守り活動、高齢者支援と中高年齢者雇用に関すること
 - ・『「ちば S S K プロジェクト」等に関する協定』締結（平成 26 年 7 月 31 日）
 - ・セブン-イレブン店舗が実施するお届けサービスと高齢者の見守り活動の実施
 - 県内店舗での「ちば S S K プロジェクト協力店」専用ポスターの掲示による周知を図る
 - 高齢者孤立化防止活動「ちば S S K プロジェクト」の啓発活動との連携強化

- ・認知症対策として、認知症サポーター養成に努める
- ・高齢者の就業や社会参加を支援する「千葉県ジョブサポートセンター」との連携に努め、中高年齢者の雇用促進を図る
- ◆セブンらくらくお届け便・お食事お届けサービス「セブンミール」の提供
 - ・買い物弱者の高齢者へのお届けの実施
 - ・500円（税込）以上でお届け料は無料、365日年中無休、お正月もお届け実施
 - ・セブン-イレブン店内の商品も一緒にお届けする

（５）青少年の健全育成に関すること

【実施】

- ◆県内の小中高生を対象に行われる職場体験の受入れ（県内の直営店をはじめ既に実施している店舗も含め、順次協力店舗を拡大）
- ◆セーフティステーション活動による青少年健全育成への取り組み
- ※セーフティステーション活動：平成17年10月から社団法人日本フランチャイズチェーン協会に加盟する12社、全国約49,323店のコンビニエンスストアが、社会的責任の一環として「安全・安心なまちづくり」並びに「青少年環境の健全化」に取り組む自主的な活動
 - ・未成年者への酒類・たばこの販売禁止
 - ・18歳未満者への成人向け雑誌の販売・閲覧禁止
 - ・少年・少女の非行化防止 等（近隣住民の方の迷惑となるたまり場化の防止）
 - ・こどもや女性・高齢者を守る活動への参加
- ◆セブン銀行協賛「森の戦士ボノロン」をセブン-イレブン店頭にて無料配布

（６）観光情報・振興に関すること

【実施】

- ◆「ちばプロモーション協議会」への会員登録（平成20年6月）
- ◆観光キャンペーン「魅力いっぱいギュッ♥と千葉」に絡んだ取り組み
 - ・ポスター、ガイドブックの設置・提示
- ◆県内観光施設・企業との連携
 - ・施設、イベントのチケット販売（宇宙博2014幕張メッセ チケット販売）

（７）環境対策、リサイクルに関すること

【実施】

- ◆CO2排出量削減に向けた取り組み
 - ・売場やバックルームなどへのLED照明の導入促進
 - ・太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入促進
 - ・空調設備の入替えによる高効率化
 - ・環境配慮型車両の導入などによる物流における削減
- ◆店舗運営における省エネの取り組み
 - ・店舗の分電盤に「電気の見える化」のための計測器（スマートセンサー）を設置
 - ・店舗の電力がどの設備で、いつ、どれだけ使われたかをパソコンで確認し、設備の使用上における問題などを把握・是正することで無駄な電力消費を削減

- ◆一般財団法人セブーンイレブン記念財団とともに、加盟店と本部が互いに協力しながら里地・里山の保護保全活動を行う（富津市鬼泪山）

（８）防犯、安全安心なまちづくり関すること

【実施】

- ◆セーフティステーション活動による地域の安全対策・防犯対策の取り組み
女性、子供等の駆け込みへの対応
（急病・怪我・不審者につけられた時、迷子保護等地域の駆け込み寺として地域住民の安全・安心をサポート）
 - ・高齢者、身体障害者等の介護補助と連絡
 - ・自主防犯（強盗・万引き等の防止対策）体制の整備
 - ・緊急事態（災害・事故）に対する 110 番・119 番通報の実施
 - ・防犯カラーボール、防犯カメラ、非常通報装置等の店内配備

（９）地域防災への協力に関すること

【実施】

- ◆災害時の帰宅困難者等に対する支援
 - ・災害時、徒歩帰宅困難者に対して水道・トイレ・周辺情報等を提供
 - ・災害時に入手した被災状況等のお客様への提供、行政や警察への通報
- ◆災害時に食料品や日用品の調達に協力
 - ・「災害時における緊急物資に関する支援協定」の締結

（10）その他、地域社会の活性化・住民サービスの向上に関すること

【実施】

- ◆行政サービスについて
 - ・市川市、松戸市、木更津市、山武市、成田市、芝山市（6市）で開始済み
 - ・現在取扱いのある行政サービス
住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書（戸籍謄本・抄本等）※一部自治体
税の証明書（課税・非課税証明書等）※一部自治体
- ◆自動車税の収納事務委託（定時課税分）
- ◆「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づいた店舗設計（順次拡大）
- ◆「平成 26 年度全国高等学校総合体育大会」（煌めく青春南関東総体 2014）の告知

以上